

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東住吉区
学 校 名	大阪市立矢田東小学校
学校長名	梶原 進

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立矢田東小学校では、第6学年 45名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率については、国語では大阪市を13ポイント、全国を14.7ポイント下回っており、算数では大阪市を15ポイント、全国を16.4ポイント下回っている。平均無解答率については、国語では大阪市を1.8ポイント、全国を0.9ポイント上回っており、算数では大阪市を5.3ポイント、全国を5.1ポイント上回る結果であった。

各教科の領域については、国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」・「我が国の言語文化に関する事項」が、算数では、「変化と関係」・「データの活用」において特に課題があると言える。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」の2領域において特に課題が見られた。これらの領域に共通するのは言語面に関しているということである。これまでの本校の課題と照らしても、その改善のために「音読・視写・ふり返し」を取り入れた授業改善などが必要であると考えられる。一方、「書くこと」については全国平均に最も近い結果であることから、教員の一人一授業による公開授業に加え、メンター研修やスクールアドバイザーによる教科指導の研修を継続し、成果の維持・向上を図る。そのうえで、児童一人一人の個別最適な学び方についての指導も行っていきたい。

### 〔算数〕

算数では、「変化と関係」と「データの活用」の2領域において特に課題が見られた。本校では、全国学力調査の算数科で求められる力として〈図やグラフなどの資料を活用して論理的に考える力〉であると分析している。今回の結果では、まさにその領域において課題が明らかになったと言える。改善のためには、友だちと教え合うなどの言語活動を授業に取り入れ、児童が自身の思考のアウトプットをする経験を積み重ねていくことが大切である。また、国語・算数の結果に共通して、正答数分布グラフが三極化しているのが特徴である。今後は、思考と対話を続けようとする姿勢も身につけていけるようにしていく。

質問調査より

「自分には、よいところがありますか」(質問9)では4.8ポイント、「将来の夢や目標を持っていますか」(質問11)では8.7ポイント、「学校に行くのは楽しいですか」(質問16)では1.9ポイント全国を上回る結果となった。一方で、「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」(質問21)で「1時間以上」と答えた児童の割合が全国と比べて低いため、家庭での学習習慣を身につけることができるように啓発していく。また、ICT機器の使用については、全国との差が大きいため、今後はねらいをもってICT機器を活用した学習活動を進める必要がある。さらに、区役所での取り組みである「なでしこ学習塾」をさらに拡充し、学力向上に向けた取り組みを今後も続けていく。

## 今後の取組(アクションプラン)

◇国語・算数の基礎・基本の力を高める方策として「矢田東漢字・計算クライミング」を3年前から取り入れている。引き続き、児童の主体性のある学びを全教職員一丸となって追求していく。

◇今年度の6年生は、大阪市経年調査結果を見ると、同一児童集団内では学力の改善傾向がある。これは、過去数年間の本校の様々な取り組みの成果が表れつつあると捉えている。引き続き、児童の学習環境づくりも視野に入れて指導にあたっていきたい。

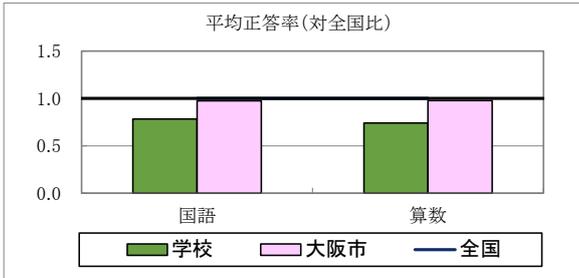
◇家庭での学習の習慣化を図るために学校、家庭との協力体制をさらに推進する。

◇学校図書館司書の活用をさらに推進し、児童の想像力や言語感覚の醸成を図る。

## 【 全体の概要 】

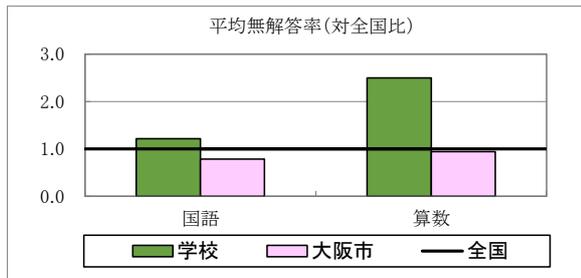
### 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	53	47
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



### 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	5.1	8.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



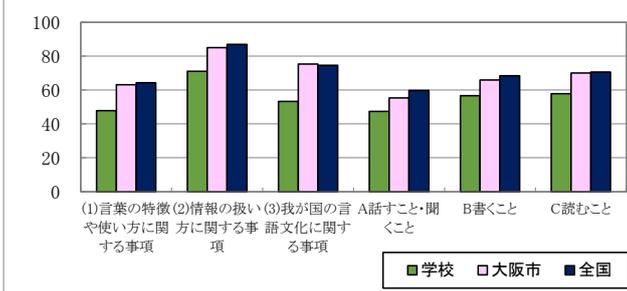
## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	47.8	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	71.1	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	53.3	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	47.4	55.3	59.8
B 書くこと	2	56.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	57.8	70.1	70.7

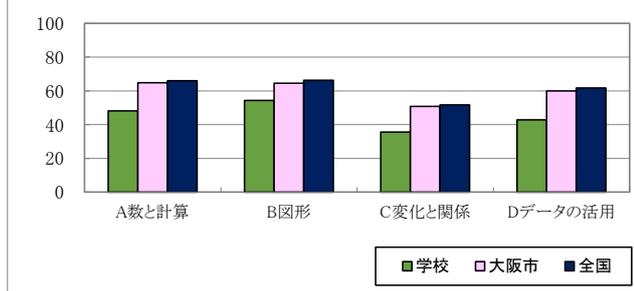
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	48.1	64.8	66.0
B 図形	4	54.4	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	35.6	50.8	51.7
D データの活用	4	42.8	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

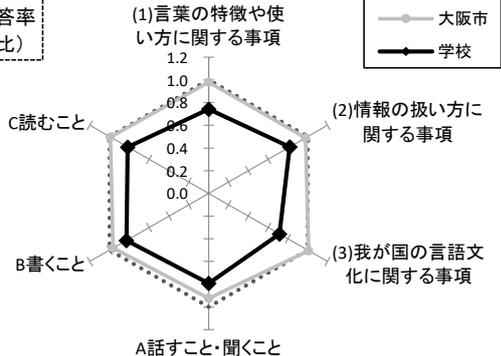


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



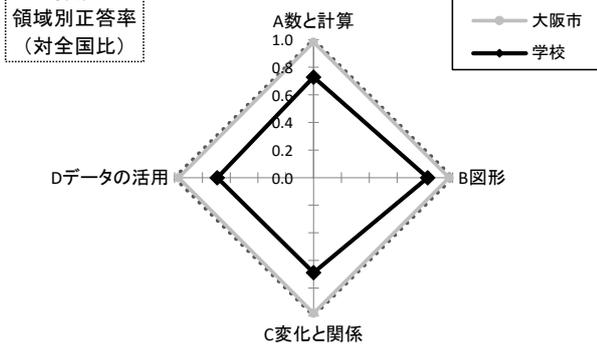
### 国語

内容別正答率  
(対全国比)



### 算数

領域別正答率  
(対全国比)

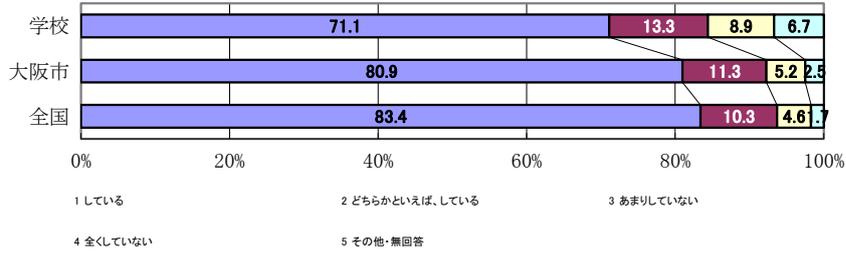


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

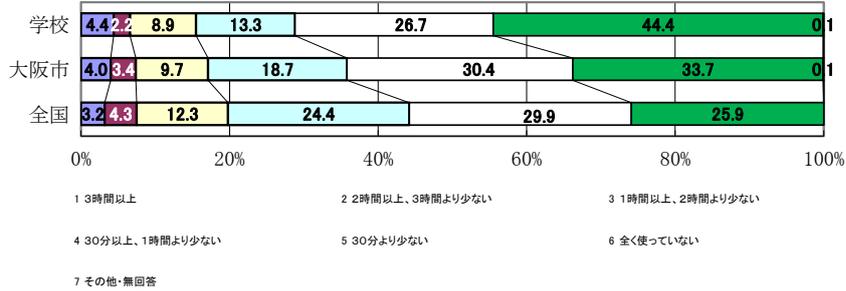
1

朝食を毎日食べていますか



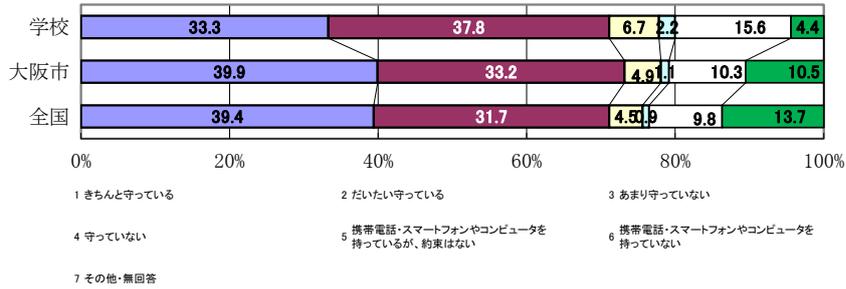
4

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



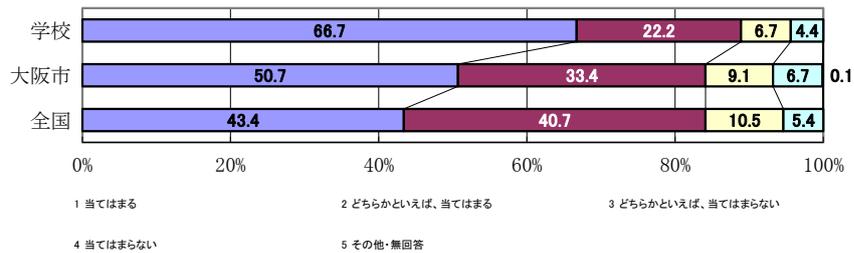
7

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



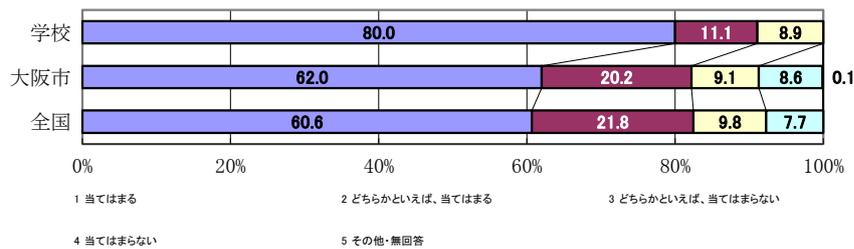
9

自分には、よいところがあると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか

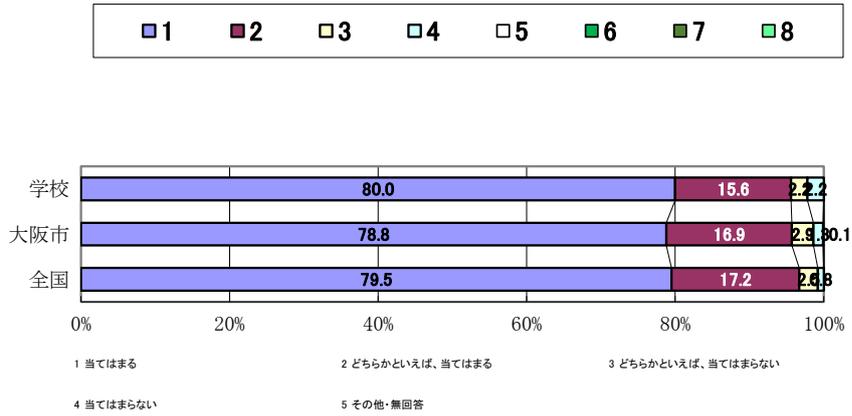


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

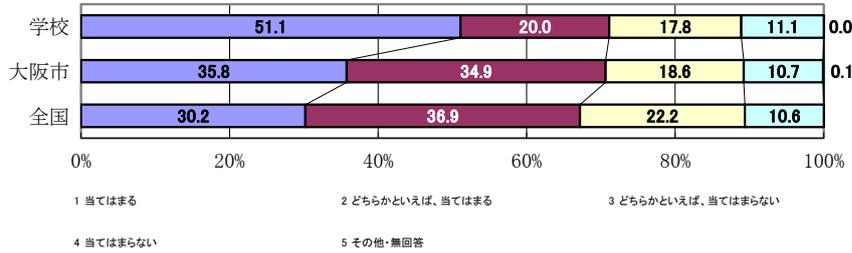
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



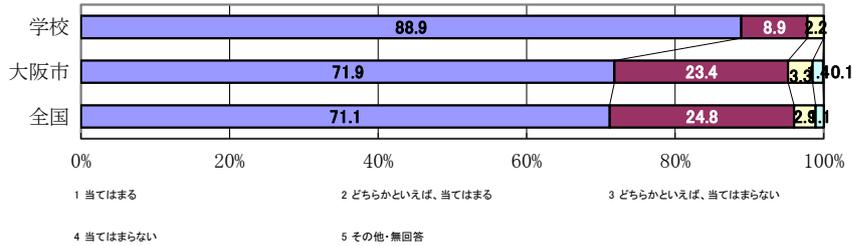
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



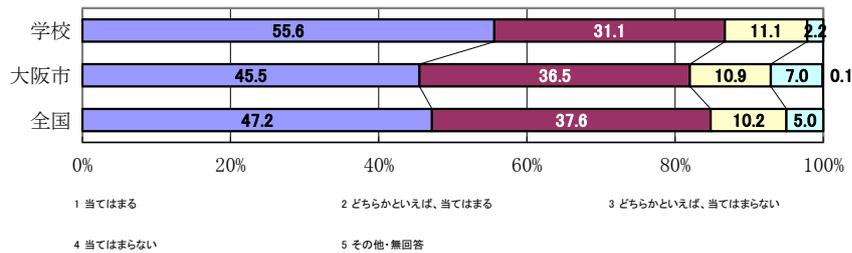
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



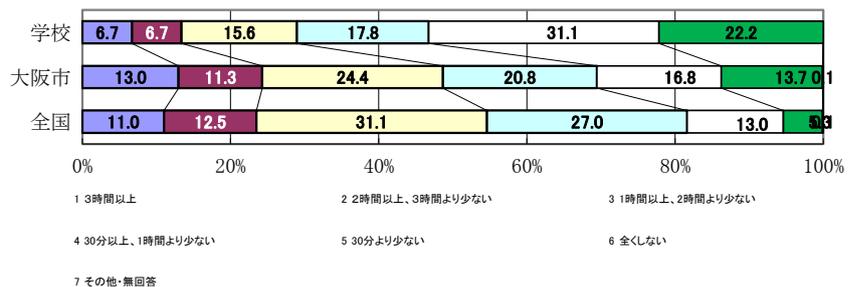
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

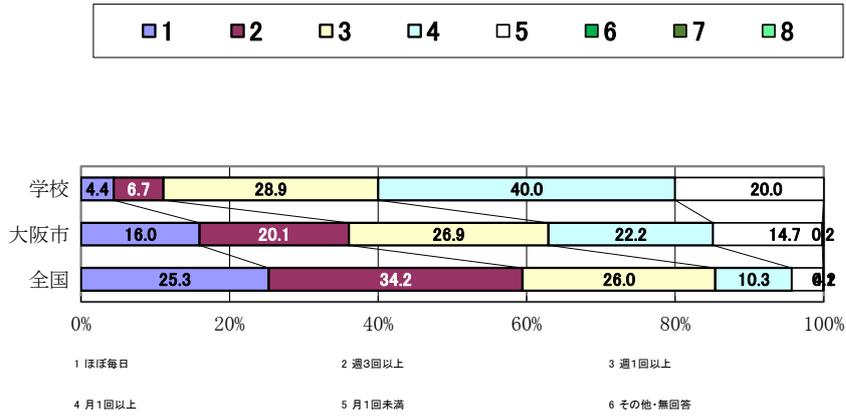


## 児童質問より

質問番号  
質問事項

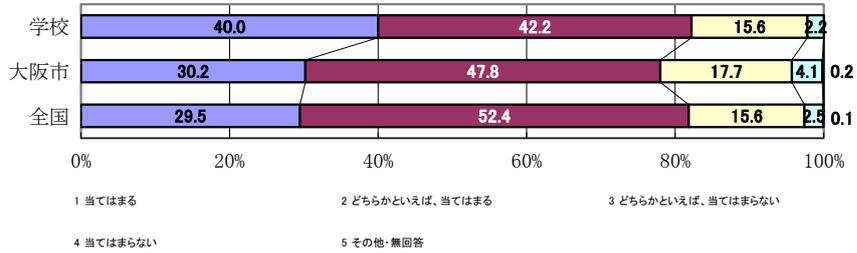
27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



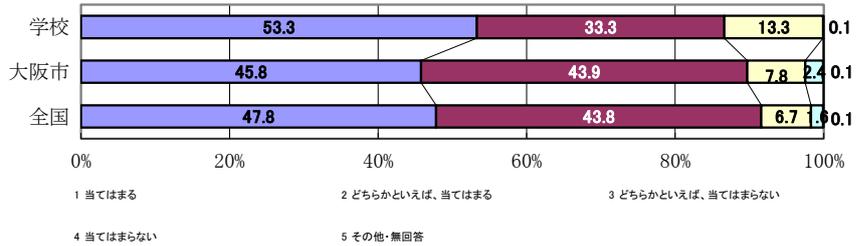
30

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



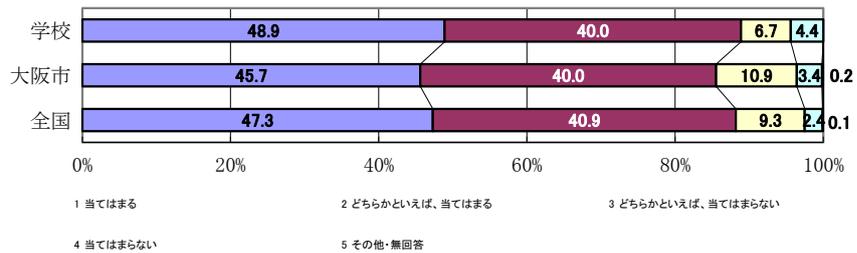
37

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



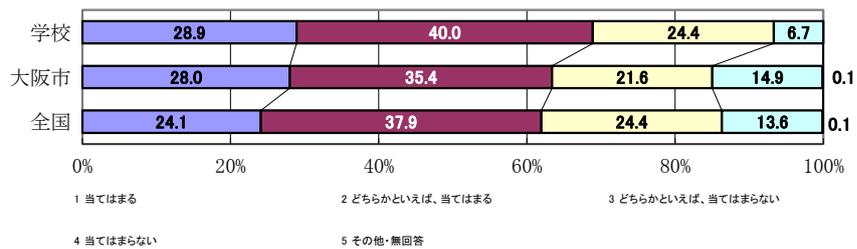
41

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



42

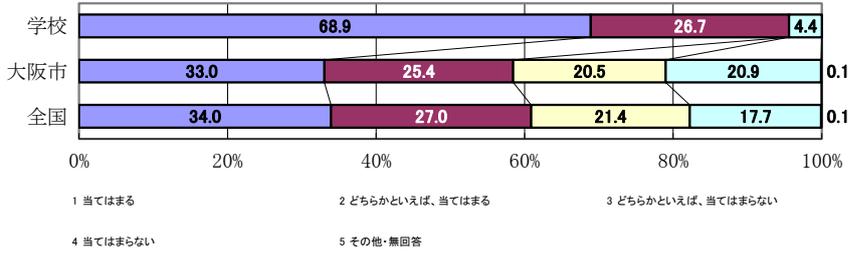
国語の勉強は好きですか



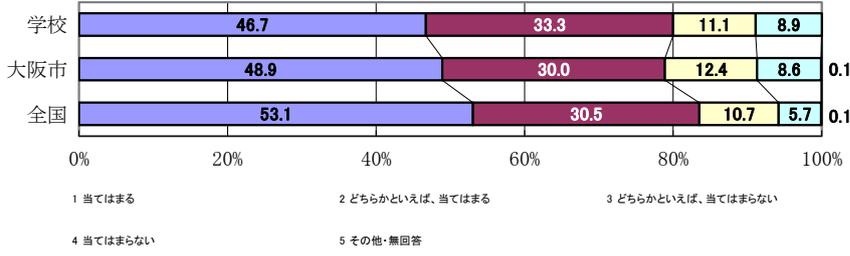
# 児童質問より

質問番号  
質問事項

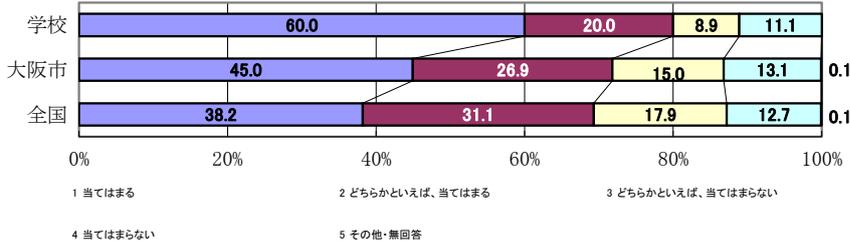
50  
算数の勉強は好きですか



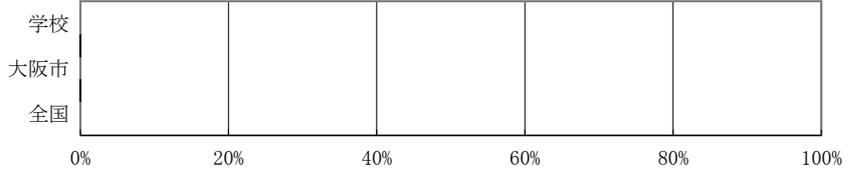
58  
理科の勉強は好きですか



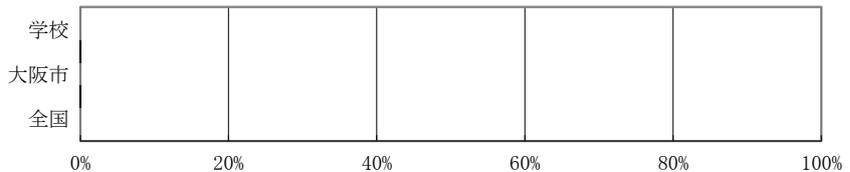
61  
英語の勉強は好きですか



Blank question box



Blank question box

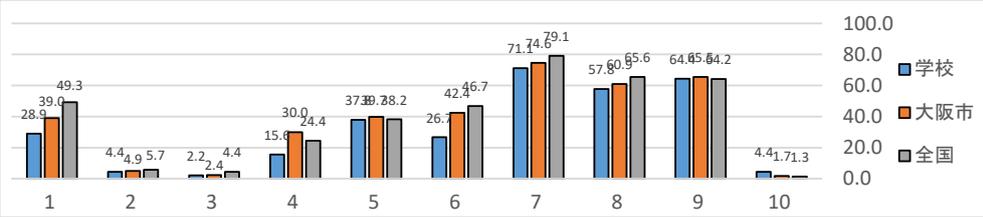


# 児童質問より(26)

質問番号  
質問事項

26

放課後や週末に何を  
過ごすことが多い  
ですか  
(複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

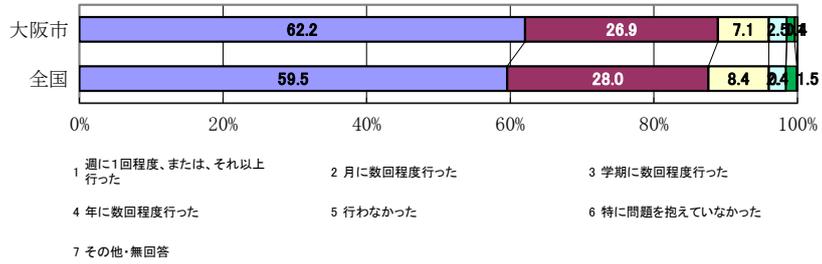
10 1~9に当てはまるものがない

# 学校質問より



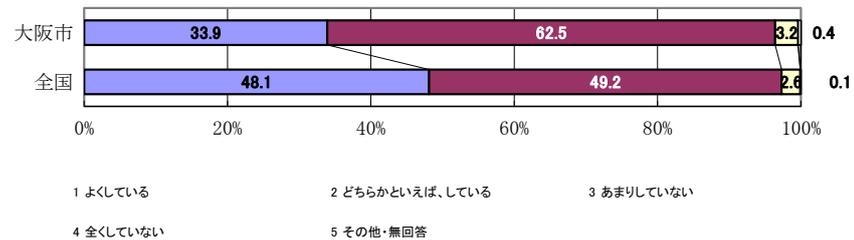
質問番号
質問事項
10
前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



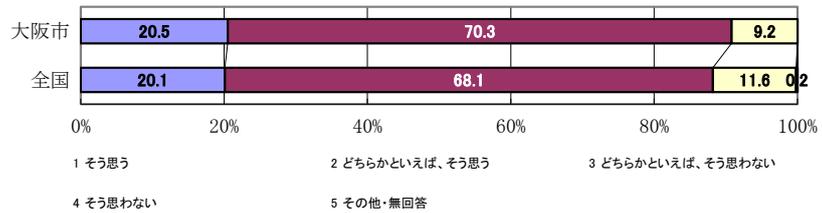
14
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



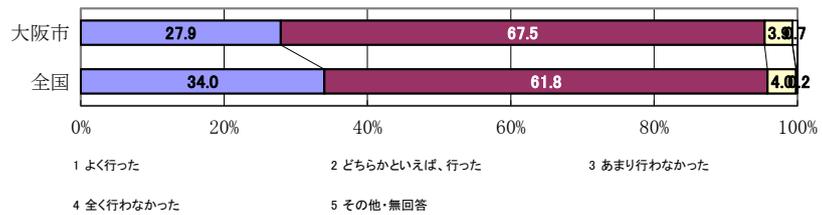
25
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



32
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37
調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

